

| | |
|------|--------------------------------|
| 工事名 | 東草野人工リーフ (No 2 1 8) 改良その2 工事 |
| 発注者 | 北陸地方整備局 黒部河川事務所 |
| 業者名 | 株式会社 飯作組 |
| 工期 | 2024年 3月 7日～2024年12月 6日 |
| 施工箇所 | 富山県 下新川郡 朝日町 |
| 問合せ先 | 代表メール : kurado@hansakugumi.com |

【工事・業務概要】

富山県 下新川郡 朝日町 東草野地先において、冬期間の寄り回り波（富山湾特有の比較的周期の長いうねり性の高波）や台風が起因の高波等から国土を保守する海岸保全施設の既設人工リーフの改良を行い、地域の安全と暮らしを守る工事である。

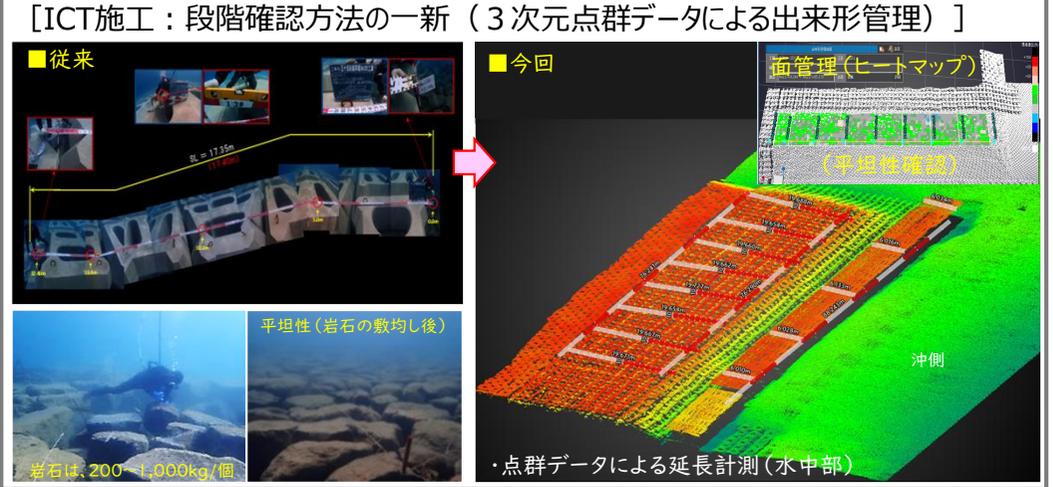
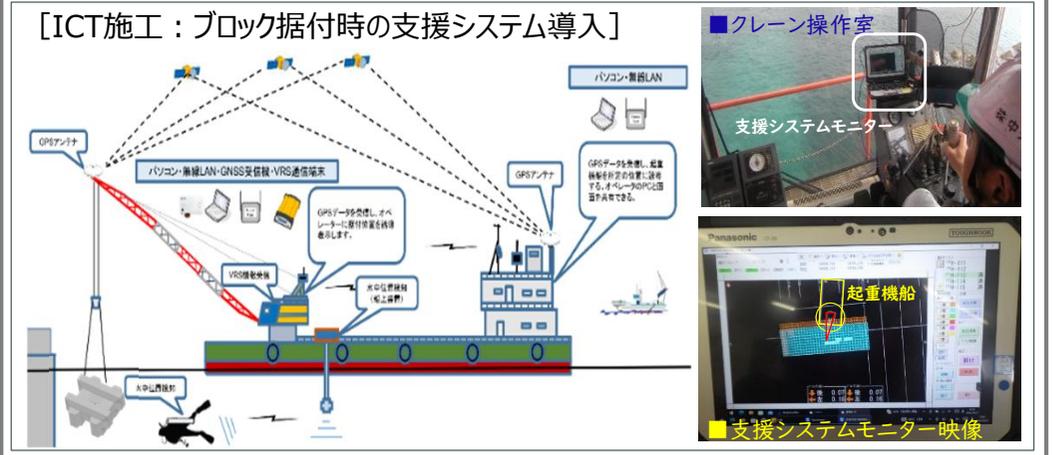
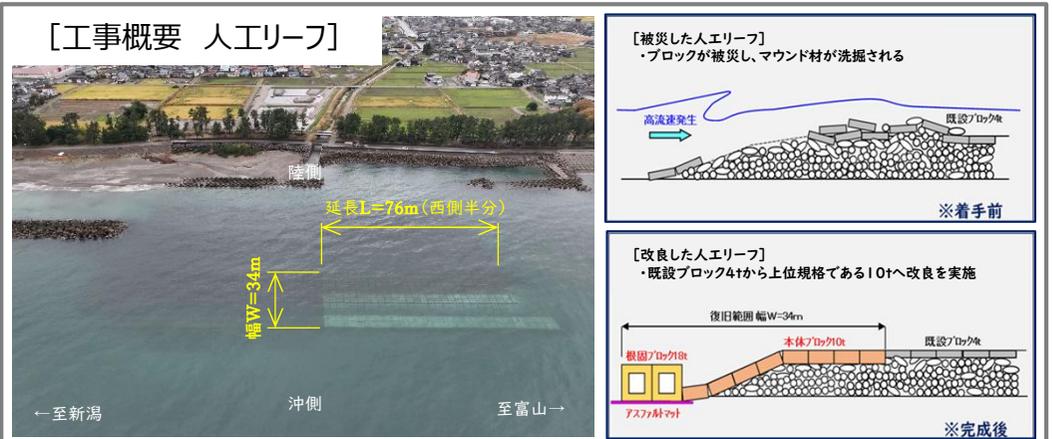
【ICT施工導入による効果】

- 工期・作業の簡素化：

従来技術と比較した場合、実働で22日の工期短縮、作業人員、延べ約60人分の削減
- 作業効率向上、出来形管理精度向上、安全性向上

ブロック据付支援システム・面管理の導入により本体ブロックの作業効率と据付精度が向上した。また、従来の写真・ビデオによる確認よりも的確に平坦性を確認できた。

3次元点群データによる出来形管理では、水中部での潜水士による寸法測定や水中出来形写真の撮影がなく危険リスクを排除できた。



小型ナローマルチビーム測深システムによる深浅測量

〔懸案事項〕

- ・ インフラDXの推奨により、海岸工事の深浅測量は「ナローマルチビーム測深（以下NMB測深）」が普及しているが、本工事は冬季風浪や寄り回り波等により既設ブロック等の飛散で、水深が浅い箇所があるため、通常のNMB測深は使用できない。



【通常のNMBによる深浅測量の懸案事項】



【通常のNMBによる深浅測量】



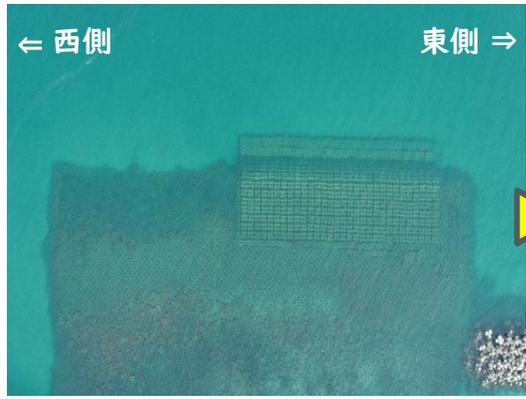
【測定箇所の現況】



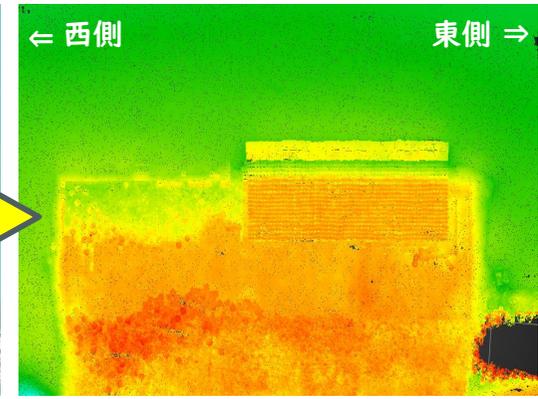
【小型無人ボート搭載型NMB概要】



【点群データ取得状況】



【航空写真(上空より望む)】



【3次元点群データ】

〔懸案事項に対する対応策〕

- ・ 「小型無人ボート搭載型NMB」を活用して深浅測量を行った。ソナーヘッドの水深が浅いため、本工事の現場条件である浅海域においても安全且つ効率的に深浅測量データを取得することができた。

